

令和5年度 とやま新時代創造創造プロジェクト学習推進事業
実施報告書【学校課題実践校用】

学校番号	31
学校名	富山県立福岡高等学校

学校の現状と課題	本校は、県内唯一の英語コースを有する普通科単独校であり、英語セミナー、英語講演会、英語スピーチコンテスト、海外語学研修、オンライン語学研修などの語学教育と国際理解教育に積極的に取り組んでいる。生徒が「英語を使いたい」「使う必要がある」と強く感じる仕掛けを数多く設定することで、生徒の学習意欲を高める工夫をしている。今後も国際社会で活躍するグローバル人材の育成のために、英語コースだけではなく、全生徒が主体的に考え、自分の意見を堂々と主張したり、討議したりできる力を育成していくことが課題である。	
テーマ(特色)	自らの意見や考えを発信できるグローバル人材の育成	
設定した「テーマ」の達成状況	本校は、英語コースを核とした普通科単独校であり、コース以外の生徒も特色ある行事に参加する機会が何度もある。そのため、全体的に英語学習に対する意欲は高く、英検やGTECなどの検定にも積極的に取り組んでいる。今年度は5年ぶりに英国語学研修を再開できる運びとなっている。この研修では、単に語学を習得するだけでなく、現地に赴いてホームステイをすることで英国の文化、習慣、価値観等に触れ、視野を広げてグローバルな視点を持つ契機とすることをねらいとしている。	
実施内容 (具体的に記入する)	<p>①英語の授業では、日常的に英語でコミュニケーションを行う機会として、ペアワーク、グループワーク、パフォーマンステスト等の活動を年間をとおして継続的に行った。これにより、英語でやりとりをしたり発表をしたりすることに慣れ、積極的にコミュニケーションを取ることができるようになってきた。</p> <p>②英語セミナーでは、様々な文化的背景を持つ外国人指導助手によるワークショップをとおして、英語コミュニケーション能力を高めるとともに、同じ英語圏でも異なる国々出身の外国人指導助手らと交流することで、異文化理解を深め、視野を広げることができた。</p> <p>③校内英語スピーチコンテストは今年で29回目となった。2学年、3学年の英語コースの予選を勝ち抜いた14名が、自らの体験や意見をジェスチャーを交えながら堂々と発表した。かなり長い英語の原稿をすべて暗記し、聞き手に伝わるようにテンポや間、抑揚にも工夫を凝らした。1年生全員が会場で決勝進出者たちの熱のこもったスピーチを聴き、そのレベルの高さに強い感銘を受けるとともに、さらに英語力を高めようという強い動機づけとなった。</p> <p>④2学年英語コースの国内英語研修プログラムでは、トップレベルの大学で学ぶ様々な国籍の外国人留学生、外国人講師との交流をとおし、英語をツールとして使うことで英語圏以外の人々ともコミュニケーションが可能だということを実体験をとおして学んだ。また、グローバルな視点や思考、積極的に意見を主張することの大切さを学び、大いに刺激を受けた。</p>	
取組による成果 (プロジェクト学習推進の観点から)	<p>・今年度はコロナ感染症が5類相当に変更されたことで、これまで中止、縮小していた多くの学校行事を再開することができた。そして、とやまの新時代プロジェクト学習をとおして、生徒の英語学習への意欲を刺激し、高めるような活動も数多く再開することができた。コロナ前と同様に、英語をコミュニケーションのツールとして使う機会を多く持つことができた1年だった。</p> <p>・GTECの結果分析から、本校では受信(リーディング、リスニング)よりも発信(スピーキング、ライティング)分野の成績が良好で、この傾向は昨年度と同じであった。グローバル社会では発信力がますます重視されるようになっており、グローバル人材の育成が望ましい方向に進んでいると考える。</p> <p>実用英語技能検定では、2名の生徒が準1級を取得した。</p>	
対象者(学年・人数など)	1学年120名、2学年英語コースを含む120名、3学年英語コースを含む115名	
実施実績	4月	
	5月	
	6月	
	7月	英語セミナー(2学年英語コース)
	8月	中学生対象英語教室の実施
	9月	校内英語スピーチコンテストの実施(1学年全員、2、3学年英語コース)、地域の祭礼の英語紹介
	10月	
	11月	
	12月	英語セミナー(国内英語研修プログラム)の実施(2学年英語コース)、英語セミナー(1学年英語コース登録者)
	1月	
	2月	英語探究の授業でのディベートの実施(3学年)、英語講演会の実施(1、2学年英語コース、英国語学研修生、希望者)
	3月	英国語学研修